

(4)

部会名 子ども部会 ①

政策提言

全ての保護者に育児のベーシックプログラムの学習機会を提供

保護者の育児力と育自力を高めるための「育児園」「育自力」講座の普及と充実事業

現状と問題点

1. 現在、保護者の育児力の不足が懸念されています

虐待や放棄など、保護者の育児力の不足

子どもの権利の認識の不足

育児不安、ストレスの増加

育児に関する知恵や知識の不足

2. 管理教育等による問題解決のための育自力（自己解決力）の不足が考えられます

保護者の育自力（自己解決力）の不足

コミュニケーション能力、自己コントロール能力の不足、自尊感情の不足

3. 地域関係の喪失による、地域の育児力の減少

具体的な内容

「育児園」とは、保護者（父母等）が育児力を高めるための系統的講座プログラム。育児に必要な基礎知識、ふれあい、コミュニケーション、遊び、応急手当、父親の育児等で構成される。親子一緒に講座、あるいは保育付きで親のみの育児に必要な連続講座を実施することで、保護者の育児力と育自力を高める。

内容例

・連続講座 2時間×10回～20回（例：毎週または隔週土曜日実施）

・対象：0歳～3歳の親子（父母）60組～（0歳、1歳、2、3歳児の3クラスに分ける。1クラス15名から25名程度。会場による）

・講座内容：

①救急救命 ②応急手当 ③子どもの育ち ④子どもの人権 ⑤危険回避、防災、防犯

⑥ふれあい遊び等 ⑦育自力講座（1回～連続11回 <http://www.ikuziryoku.jp.org/>）

⑧季節行事 ⑨地域交流、保育や子育て支援の現場実習 ⑩外遊び ⑪食育 ほか

「育自力」講座は、コミュニケーションを通して自己解決力を育てる講座。子育ての知恵、知識、情報の交換をしながら、傾聴、共感、受容等の他者（子どもを含む）の異なる意見や価値観への受容練習も含まれている。「子育てのための育自力」全11回。「パパ育自力」全6回。

1、「育児園」事業の普及啓発を実施

①全国各地で「育児園」事業についての講習会を実施する

2、「育児園」のモデル事業を実施

①各地で「育児園」のモデル事業を実施

②アドバイスを実施

3、「育自力」講座ファシリテーター資格取得研修を実施

①資格取得研修実施（別途2時間×20回のプログラム）

4、全国各地で「育児園」を実施

期待される効果等

1. 保護者の育児力、育自力を高め虐待、放棄の防止となる

2. 父親が育児の主体者となるための学習効果

3. 他者に対する共感、受容、子どもの意見を聞くなど、コミュニケーション力を高め、親子関係、友人関係、人間関係の再構築に繋がる

4. 子どもの権利の尊重に繋がる

5. 雇用創出による地域のNPO、市民活動の活性

6. 地域内で顔見知り関係を作ることにより、地域の育児力が高まり、コミュニティの再生に繋がる
必要な予算額・条件等（単位：百万円）

1、「育児園」事業の普及啓発を実施 30百万

①全国各地で「育児園」事業についての講習会を実施する

全国30カ所 100万×30カ所=30百万

2、「育児園」のモデル事業を行う 105百万

①各地で「育児園」のモデル事業を実施 全国30カ所 300万×30カ所=90百万

②アドバイスを実施 30 力所 50 万×30 力所=15 百万

3、「育自力」講座ファシリテーター資格取得研修を実施

①資格取得研修（別途 2 時間×24 回） 250 万×50 力所（50 回）=125 百万

総予算 年間 260 百万 継続

4、全国各地で「育児園」を実施

1 プログラム実施に 500 万の補助

500 万×50 力所=250 百万 → 500 万×1500 力所=7500 百万

条件：実施に当たっては地域の子育て支援の N P O の協力を得ること

政策提言の責任者[所属団体・役職・氏名] [メールアドレス]

特定非営利活動法人ままとんきっず arikita_i@yahoo.co.jp

理事長 有北いくこ [電話番号]080-5025-7774